

# 高等学校第2学年 LHR（進路学習と道徳教育）学習指導案

期 日：平成22年9月22日（水）第5校時

場 所：熊本県立菊池高等学校2年各教室

指導者：第2学年担任

1 主題名：自分自身の将来を見つめる

2 主題について

(1) 人間にとって、自らの人生をどう生きるかを自分自身に問い掛け、そのことを通して自らの人生や新しい社会を切り開く力を身に付けていくことは重要なことである。常に前向きな姿勢で未来に夢や希望を持ち、自主的に考え、自律的に判断し、判断したことは積極的にしかも誠実に実行しようとする力強さを持つことは、人間としての在り方の根本にかかわることである。

高等学校段階の生徒は、自分の人生をどう生きればよいのか、生きることの意味は何かということについて思い悩む時期であり、人間や社会の在るべき姿について考えを深める生徒も多い。それらを模索する中で、生きる主体としての自己を確立し、自らの人生観・世界観ないし価値観を形成し、主体性を持って生きたいという意欲を高めていく。

そこで、生徒一人一人に、自分にふさわしい、よりよい生き方を選ぶ上で必要な固有の選択基準ないし判断基準を持たせ、未来を主体的に拓く人間としての在り方を問うことは意義あるものと考ええる。

(2) 本主題に係る生徒の実態は次の通りである。（2年男子119人、女子98人、計217人）

本校の2学年の生徒は、夏休みオープンキャンパスへ参加し、大学、短大、専門学校などの上級学校において様々な体験をしてきている。それぞれの生徒は、学校の現状や求められる学生像を知り、次年度と迫った自分自身の進路の決断のための判断力を養うという目的を持って体験したが、各自の思いは様々であったと思われる。

将来の夢について事前にとったアンケートは、以下の通りである。

①あなたには夢がありますか	ある 58 %	ない 42 %
②それはどんな夢ですか 具体例) 福祉・介護系, リハ系, 保育士, 教師, 栄養士, 司書, グランドスタッフ, 公務員, 警察官, 消防士, 地域への貢献, スケーター, ファッション系, イラストレーター, 作家, パティシエ, 調理師, 声優, カウンセラー, メイクアップアーティスト, 接客業, グラフィックデザイナー, 鍼灸師, 建築関係, 美容師, 歯科衛生士, 音楽関係, 美容師, パソコン関係, 建築士, 調理師, 運転手, 自衛官, 芸能活動, IT 関係, 客室乗務員, お金持ち, 自分にあった仕事に就きたい, 先ずは大学に行くこと, 模索中		
③そのために何か準備していますか	している 26 %	していない 74 %

それぞれ目的意識に差はあるが、夢を持ち、こうしたいという気持ちは持っている。しかし、「夢がある」と答えた生徒の中でも、夢を叶えるための行動に移せていない生徒は多く、まだ、漠然としていると言える。一方、「夢がない」と答えた生徒には「夢を持つこと(探すこと)が今の夢」と答えた生徒もいた。

(3) 指導にあたっては、次の点に留意する。

- 進路学習・総合的な学習の時間と関連させた指導を行うことで、意図的・計画的に教科・領域との関連を図り、生徒の課題意識を高める。
- 本学習は、オープンキャンパスへの参加を通して、自分自身で感じたこと、考えたこと等をグループで話し合い、考えを深め、発表し、他の人の意見や感想を聴くことで、自分の夢について考えさせる。
- 事前に班員の「オープンキャンパスの記録」を準備させ、事前アンケートを実施することで、スムーズに展開できるようにしておく。
- 生徒同士が意見を交換し、これまでの自分たちの態度や意欲について考え、これから自分たちがどのように取り組んでいくべきなのかを考える時間を設定することで、道徳的価値の自覚を深める。
- 資料として『高校生の夢』（いろは出版）を用い、自分の将来について、生徒に主体的に考えさせるようにする。
- 「夢」を題材とした原稿を書かせることで、これからの自分を見つめさせる。

3 進路学習と道德教育との関連（4月～12月）

月	進路学習	道德教育
4・5月	個人面談・進路調査・履歴書	人生・人間や社会の在り方
6月	就職事情・地元理解・調査書	人間や社会の在り方
7・8月	出前講義・マナー講座・オープンキャンパス	礼儀・公德心・社会連帯
9月	進路講演会・将来について	個性の伸張・将来の夢
10～12月	NIE・自己推薦書・個人面談	集団や社会との関わり

4 本時の学習

(1) 本時の目標

夢や目標を求め、その実現に向かって努力し、自分の人生を豊かにしようとする実践意欲と態度を養う。

(2) 本時の展開

	学習活動	主な発問(○)と指示(◆)	教師の指導上の留意点 * 言語活動	備考
導入 10	1 「オープンキャンパスの記録」を振り返り、自分たちの実態に気付く。	○参加した理由は何ですか。 ○学んできたことはどんなことですか。	・多様な考え、意見を引き出す工夫をする。	
展 開 30	2 「夢」について考える。  3 「高校生の夢」を読み、自分の夢について考える。	○夢を持つことはよいことと思いませんか。 ○あなたは、どんな夢を持っていますか。 ◆夢を持った理由なども含め、班全員で意見交換をしよう。 ○「高校生の夢」を読み考えよう。 ○これを読んでどう思いませんか。 ○自分の夢と比べてどう思いましたか。 ○どの考えが気に入りましたか。 ○あなたの考えはどのように変わりましたか。	・事前アンケートの結果を踏まえて夢を模索中の生徒もいることを伝えながら夢決定のプロセスについて考えさせる。 ・班で自らの夢を語り合うことで、班員で夢を共有できるようアドバイスをする。 ・「高校生の夢」の中から7点を資料として配付、各班でそれぞれを読んで情報を共有させる。 ・プロジェクターにより、夢を書いた本人の画像を見せ実感を持たせる。 ・アンケートを踏まえ、夢に向かって実際に行動に移せていない自分、まだまだ足りない自分に気付けるようアドバイスする。 ・自分の夢実現のために何が必要かなど適切なアドバイスをする。	「高校生の夢」(いろは出版) プロジェクター・スクリーン
	4 日本ドリームプロジェクトに投稿する原稿を作成する。	○今の自分の夢を自分なりに原稿にまとめてみよう。	* 自分の考えを基に、友達と意見交換をする。 ・自分の夢を実現するのに必要なものは何か考えさせる。 ・これからどのような行動をとるべきなのかということを考えさせる。 * 自分の夢を原稿用紙にまとめる。	原稿用紙
まとめ 10	5 学習のまとめ。(授業の感想)	○今日の学習を振り返ろう。	・本時の学習を振り返らせるために簡単な視点を与え、感想等をまとめさせる。	プリント

1 「オープンキャンパスの記録」を振り返って

①「参加した理由(動機)はなんですか」

自分の意見)	班員の意見)
--------	--------

②「学んできたこと、興味をもった点はなんですか」

自分の意見)	班員の意見)
--------	--------

2 「夢」について

思う 1 2 3 4 思わない

①「夢を持つことはよいことと思いますか」

②「自分の夢をどう決めましたか」

自分の意見)	班員の意見)
--------	--------

3 「高校生の夢」を読み、自分の夢について考える

①「高校生の夢(資料)を読んでどう思いますか」

自分の意見)
--------

4 日本ドリームプロジェクトに投稿する原稿を作成する

別紙原稿用紙

5 本時の反省及び感想

①反省

できた 1 2 3 4 できなかった

1)「自分の考えを持つことができたか」

1 2 3 4

2)「自分の意見が言えたか」

1 2 3 4

3)「授業は積極的に参加できたか」

1 2 3 4

4)「自らの夢を実現させるために努力していこうと改めて思えたか」

1 2 3 4

②感想

--